



# だっこするよ

令和3年3月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

## 最善の利益とは何か 防災に強い園を目指して

玄関脇の桜のつぼみも膨らみ、暦では「啓蟄」の時期を迎え、北半球の草木や生き物たちが一斉に命の輝きを見せ始めています。3月、今年度最後の月を迎え、子どもたちの成長をあらためて感じる季節です。子どもたちは進級や入学への期待に胸を膨らませています。前に進むときには、時に不安や戸惑いなど葛藤もあると思いますが、小さくても「自分」と向き合う大切な時間となるでしょう。感性が豊かな子ども達はいろんな表現で伝えてくれます。心をほぐしてあげつつ何かありましたら担任まで声を掛けてくださいね。

卒園する年長組は、平成28年、指定管理園として引き継いだときに1歳児組でした。大きな変化を受け入れて、私たちと一緒に園を創ってくれた子どもたちです。保護者の皆さんも本当に有り難うございました。そのことを思い出すだけで胸が熱くなります。途中転入で出会えたお友達も沢山います。その一人ひとりの存在こそが園の自慢であり宝です。寂しいですが、卒園式の日、心から祝福したいと思います。年長組に行くといつも「しょうこさんが来たよ～」と迎えてくれるのが嬉しくてなりません。今、卒園前の制作作り、一針一針と手縫いをする雑巾を縫っています。園長とこんなことをしたなといつか思い出してくれると嬉しいです。

今年度は、4、5月の登園自粛から始まり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で振り回された一年でした。保育を見直ししながら新しい生活様式での保育となりました。登園時の検温、体調確認、手指消毒、衛生消毒など「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を基に行なってきました。9月から4、5歳組は「英語で遊ぼう」を始めました。講師にも慣れてきてとても楽しそうです。そして、今までの行事の見直しを行い、幼児組では歳児別の「運動会」や組別「大きくなったねの会」そして4、5歳児の「芋掘り遠足」「私たちのSDGs焼芋パーティー」を感染防止のご協力をいただきながら開催できたことは私たちの大きな喜びです。ご協力、有り難うございました。友だちとその日まで協力して創り上げてきた活動は、子どもたちの心の土台となり、未知なことへ挑戦していく自信=生きる力を育んだのではと思います。

保護者の皆様には入室が出来ず、制限の多い一年間となりましたが、陽性者が出ず、通常運営が出来たことは皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。世界中が変動的で不確かな毎日、保護者の皆様も大変な一年であったと思います。園は大人にとっても温かな安心の場所で有りたいと思います。心と体の健康well beingを皆で目指していきましょう。人生のひとつの子育てを皆で楽しみ、悩みや不安も皆で共有していきたいです。困ったときこそママの声を聞かせてくださいね。

防災に強い園とはどのような園か、避難訓練を含めて見直しをしております。保護者アンケートに「地震の時は、安全な所に避難してだんごむしのポーズ！あとお話を聞くんだよと話してくれて驚くと共に、日々の訓練の中での伝え、保育者がどれだけ真剣に子どもに避難訓練しているかが分りました。」と書いて下さっていました。とても嬉しかったです。さて、今年度は、3.11東日本大震災から10年を迎えます。多くの犠牲の上に私たちの生活があることを忘れず、命を守るために「訓練」と「体作り=歩育」にしっかり取り組んで参ります。大川小の悲劇、大川を語る会の佐藤さんは、防災とは「ただいま」を言うことだと話されています。朝、送り出して、夕方「ただいま」の音が聞ける幸せを忘れずに暮らしたいものです。

最後になりましたが、今年度も保育へのご理解やご協力に心から感謝申し上げます。また、先日の保護者アンケートへのご協力頂き有り難うございました。いただいたご意見を真摯に受け止めて令和3年度に進めて参ります。

写真は、年長さんたちが、1歳児さんのお世話をしてくれている様子です。「可愛いなあ」と弟、妹のように優しく接していました。